

このかレター

2024年4月号（4月9日発行）

<通巻第7号>

編集・発行●「難民・移民なかまのいのちの緊急基金」運営チーム

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館 52号室
RAIK内 外キ協事務局

電話 (03) 3203-7575 E-mail: nanminkikin@gmail.com

郵便振替 00190-4-119379 口座名称: 外キ協

ホームページ <http://www.gaikikyo.jp>

全国各地のなかまたち(個人・教会)から

269人のなかまたち(難民申請者・仮放免者)へ!

～第一期&第二期の取り組み～

外国人住民に対する日本の差別的な法律や制度により、医療・居住・労働・教育などの諸権利が保障されず、過酷な生活を余儀なくされている難民・移民の方々に、一年間で1,000万円の献金を集めて、支援金として届けようとスタートした「難民・移民なかまのいのちの緊急基金」も、とうとう折り返し地点を過ぎました。大変ありがたいことに、毎日のように全国各地から献金が届き、これまでに8,409,312円の献金が集まりました。

これらを元手に、第一期(2023年8月～12月)では、支援団体や支援者を通して、163人の難民申請者・仮放免者の方々に支援金をお渡しすることができました。さらに、第二期(2024年1月～3月)では、106人からの申請があり、3月末までに95人には支援金をお渡しすることができました。残りの11人についても、必要な献金額が集まり次第、送金する予定です。難民・移民のなかまたちを想う「ハチドリの一とせずく」が、各地のみなさまから集められ、第一期&第二期合わせて269人も難民・移民の方々に届けることができることに、心から感謝です。また、私たち基金運営チームも、「無理

だとあきらめず、祈り行動して良かった!」と、みなさまから大きな喜びと励ましをいただいています。

1月からは、楽しくアクションしていくためのきっかけづくりとして、「アーメンアクション」も始まりました。基金の活動を知り、いつでもだれでも気軽に参加できるように、SNS(Instagram、Facebookなど)を活用して発信を続けています。ハッシュタグとは、どれだけSNS上でこの言葉を使った人がいるかを把握したり分類したりするために使われるものです。これまでに、「#amenaction」102件、「#アーメンアクション」136件、「#難民移民いのち基金」110件と、多くの人たちがこのアクションにも参加し、ハッシュタグをつけて祈りと想いを発信してくれていることがわかります。

6月7日(金)午後6時半からは、難民・移民キリスト者フォーラムを、会場(大阪)とオンラインのハイブリットで開催します(4ページ目をご参照ください)。ぜひご参加ください。

必要な方々に支援金をお送りするためには、まだまだ献金が足りません。ぜひ引き続き、みなさまのお祈り・励まし・ご支援をどうぞよろしくお願いします!

●森小百合(基金運営チーム)

難民・移民のなかまたちの声が届いています。

昨年12月に第一期支援を行なうことができ、難民申請者・仮放免の方々お一人3万円をお渡しすることができました。運営チームに届けられたいくつかの声を紹介します。

- ◆飛び上がって喜んだり、踊りながら、「素晴らしいクリスマスプレゼントをありがとう！」。
- ◆家賃の支払いに充てます。
- ◆今日は久しぶりにお肉を食べたいです！大切に使います。
- ◆中学の制服代を出せます。
- ◆こどもたちの食費、おむつ代などにかく物入りでとてもありがたい。
- ◆子供たちの服を買い、クリスマスを祝うなどが可能になり、ほっとする時間ができてとても有り難い。
- ◆サッカー少年のこどものユニフォーム代、試合の時の交通費に充てることができた。
- ◆たまっていた電気・ガス・水道代を真っ先に支払い。成長期のこどもの服、ズボンとトレーナー、学校に行くための運動靴が買えました。
- ◆部屋の更新費（更新費と1か月分の家賃を支払わなければならない）の一部に。大助かりです。
- ◆在留資格がなく就労できない中での生活費に助かった。
- ◆日本語検定を目指して学び、オンラインの本格的な日本語レッスンを受ける機会があり、wifiや電話代も払え、当面のコースを続けることができます。
- ◆家賃の未払いを支払うことができました。娘にお小遣いをあげられました。
- ◆ぜんそくの息子に新しい布団一式を買うことができました。頭痛に悩む夫の眼鏡を作る予定です。
- ◆持病を持つ日本人配偶者がいて、入院を勧められている中でとても助かります。
- ◆けがをしても健康保険に入れないため、膨大な治療費がかかる中、支援金は助かりました。
- ◆心臓病を抱えながら病院に行けなかったのでとても助かりました。
- ◆毎月の治療費、中学入学のため、制服などの必要な準備ができました。
- ◆水光熱費や病院の治療費、入管への交通費などにあてました。
- ◆アレルギーで小麦全般が食べられず、食料の節約も難しく、助かった。
- ◆支援団体、教会、入管での手続きやフードバンクに行く交通費に使います。

働いて収入を得ることができないため、いつもは知人に借金をしたり、支援者に頼る生活をしています。食費、家賃、光熱水費、こどもの学費・養育費という基本的な必要に加え、病気やケガなどに対応する費用が必要になってきます。「3万円」がそのような必要に充てられ、喜ばれた声を聞くことができました。喜びと同時にそのように申請中の方々や日本人の配偶者まで追い立てていく入管行政の課題を変えていくことを目指しながら、繋がって生きたいと願うことでした。一番の支援は、在留資格がもらえること！

●今給黎真弓（基金運営チーム）

ここのか祈禱会

毎月9日19:30~20:00、難民・移民基金につながるひとたちと共に、祈り・分かち合うひとときをオンライン（Zoom）でもちます。基金報告、発題や証し、参加者同士の分かち合いなど。どなたでもお気軽にご参加ください。

（2023年11月~2024年7月9日まで続けます）

- ★ 次回以降の予定：5月9日（木）岡田薫さん
- 6月9日（日）みんなの感想・思いを分かち合おう♪
- 7月9日（火）山岸素子さん

●Zoomリンクはこちら
ミーティング ID: 815 7644 8847
パスコード: 798850



第1～2期 難民いのちの緊急基金 収支中間報告

(2023年8月6日～2024年3月31日)

◀収入の部▶			◀支出の部▶		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
献金	8,409,312	教会・団体・個人	第一期支援金	4,890,000	@30,000×163人
			第二期支援金送金分	2,850,000	@30,000×95人
			通信費	38,495	送料、振込手数料ほか
			事務費	115,107	チラシ印刷代ほか
			人件費	228,750	8月～2024年2月
			2・18集会経費	27,530	謝礼、会場費ほか
合計	8,409,312		合計	8,149,882	

収支残高:259,430円 最初の目標「1000万円/300人支援」を達成するには、あと159万円が必要です。

「難民いのちの緊急基金」に献金を送ってくださった教会・個人

(2023年8月6日～2024年3月31日)

外キ協/幼きイエス会(ニコラ・バレ)/横浜桐畑教会/日独コースミッション2023/イエズス会 社会司牧センター/浦安教会/日本キリスト教協議会女性委員会/日本基督教団九州教区北九州地区ヤスクニ人権委員会/日本キリスト教団巣鴨ときわ教会/日本自由メソヂスト教団/日本聖公会東京教区人権委員会/キリスト者平和ネット/日本基督教団四街道教会/新発寒教会/カトリック大分教区カリタス/日本聖公会神田キリスト教会/三次教会/日本キリスト教婦人矯風会新潟/日本カトリック難民移住移動者委員会/宮古聖ヤコブ教会/日本福音ルーテル函館教会/日本キリスト教会北海道中区ヤスクニ・社会問題委員会/蒔田教会/日本基督教改革派名古屋教会/日本キリスト教会夕張伝道所/日本バプテスト連盟大宮バプテスト教会/さよなら玄海原発の会・久留米/ヒロシマとメノナイトのともに集い合うセミナー/KMJチャリティー/北海道外キ連/NCC人権委員会参加者/日本聖公会仙台基督教会/日本福音ルーテルむさしの教会チャリティーコンサート/日本バプテスト同盟野並キリスト教会/日本バプテスト連盟大分キリスト教会/日本バプテスト同盟寝屋川キリスト教会/日本福音ルーテル八王子教会/恵の丘長崎原爆ホーム/日本福音ルーテル宇部教会/日本キリスト教団月寒教会/日本福音ルーテル藤が丘教会/日本キリスト教会多摩地域教会/カトリック・カルメル修道会/日本バプテスト連盟日本バプテストキリスト教目白ヶ丘教会/日本聖公会東京教区聖マルコ教会/日本キリスト教会柏木教会/福岡女学院中学校/日ノ本学園高等学校/カナダ合同教会(UCC)/日本基督教団豊中教会/日本バプテスト連盟日本バプテスト大阪教会/日本バプテスト同盟関東学院教会/日本聖公会鹿児島復活教会/日本友会東京月会有志/日本キリスト教団下落合教会/下落合みどり幼稚園/日本福音ルーテル帯広教会/日本バプテスト同盟金沢文庫キリスト教会 CS/日本基督教団旭川豊岡教会/日本バプテスト連盟神戸バプテスト教会/日本バプテスト同盟駒込平和教会/日本バプテスト同盟瀬戸田バプテスト教会/日本基督教団横浜上原教会/日本バプテスト同盟高槻バプテスト教会/西南学院中学校高等学校後援会母の会/日本バプテスト同盟深川教会/日本基督教団市川三本松教会/日本バプテスト連盟日本バプテスト静岡キリスト教会/日本基督教団播州赤穂教会/日本基督教団千葉教会/日本基督教団新潟教会/日本基督教団倉敷教会/日本基督教団廿日市教会/日本基督教団宇和島中町教会/日本バプテスト連盟八王子めじろ台バプテスト教会/西南学院中学校・高等学校/日本バプテスト同盟日本バプテスト厚木教会/外キ協全国協議会参加者有志/日本バプテスト連盟大分キリスト教会/日本基督教団阿倍野教会/日本バプテスト連盟徳島キリスト教会/学習会/アーメンアクション/日本基督教団原宿教会/日本バプテスト連盟姪浜バプテスト教会青年会/日本キリスト教団福知山教会/日本バプテスト連盟長住バプテスト教会/日本カトリック管区長協議会・日本女子修道会総長管区長会/在日大韓基督教会小倉教会/日本基督教団小倉日明教会/奈良アーメンアクション/日本基督教団片町西教会/日本バプテスト連盟北大阪教会/在日大韓基督教会布施教会/アーメンアクション(北海道)/2・18集会会場カンパ/マリアの宣教者フランシスコ修道会東京第三修道院//新潟ヘルプの会/日本基督教団室町教会/駒込ネイルアクション/日本基督教団尼崎教会/矯風会長岡グループ/日本バプテスト同盟野並キリスト教会/日本バプテスト同盟/日本キリスト教団徳島北教会/日本バプテスト同盟関東学院教会/日本バプテスト女性連合/日本バプテスト連盟靖国神社問題特別委員会/日本バプテスト連盟神戸西バプテスト教会/日本バプテスト連盟岡山バプテスト教会有志/ほか3団体(匿名)/栗田英昭/岡田幸助/佐々木国夫/奈良いずみ/高橋礼子/井田泉/金成元/八木淳司/比企敦子/岸まち子/原科浩/秋葉正二/竹内正幸/今給黎眞弓/田村義明/大倉一美/大曲由起子/岡田富美子/松橋敦子/北村恵子/石塚多美子/大内絵美/小谷野聖枝/薄井遥/秋山成子/日笠山吉之/山内英子/渡邊さゆり/吉田雅尚/李省展/濱野敏子/渡辺輝夫/齊木登茂子/藤田美土里/横山陽子/潮江亜紀子/中村登紀子/三好祐輝/日高門/秋山道子/李明生/デイビット マッキントッシュ/河内理恵/洪秀任/金長壽/星山京子/飛田雄一/岡田薫/吉高叶/森山信三/山本二三子/古賀清敬/丹野信子/長谷川洋一/松村光司/藤田誠/中村証二/吉田絵理子/真下弥生/松本千恵/高橋愛/張征峰/細井留美/大西晴子/小池善/佐藤信行/川内裕子/斎藤幸義/森小百合/三吉小祈/古田真帆/飯高京子/元百合子/土井しのぶ/クボコウヘイ/石谷恵之/上西創造/長尾有起/フクイキエコ/虎川清子/川野安子/野副めぐみ/市川佐代子/李清一/本間勝/杉山佳奈子/鈴木律代/高本由美/刀祢館美也子/高谷幸/柴田朋子/鎌田治子/斎藤成二/山岸素子/栗田隆子/富田正樹/日高賢/松中みどり/安田真由子/松坂克世/竹内すなお/鈴木律代/申ヨソソ/須藤伊知郎/野村篤子/高橋周也/前田以智子/樋口洋一/宮尾素子/中川弥生/白井捷子/人見富美子/國分美生/澁谷信男/陣内大蔵/大嶋かおり/藤森春江/カジユキキコ/ヒガシダサチコ/小河義伸/鈴木寛/米山久子/吉高路/ほか47名(匿名)

※複数回献金者のお名前の掲載も1回とさせていただきます。
※献金を送ってくれた団体・個人は延べ117団体+217人

献金合計額:8,409,312円 **感謝**

● 難民・移民キリスト者フォーラム2024 ●

難民申請者・仮放免者を国外追放しようとする 「2023年改悪」入管難民法の 実施に反対します！

対面とオンラインによるフォーラム



参加無料
事前申込

日時 2024年6月7日(金) 午後6時30分～8時30分

会場 在日韓国基督教教会館 (KCC)

(大阪市生野区中川西2-6-10 / 地下鉄「今里駅」から徒歩10分)

参加申込 <https://forms.gle/ZqvC9fPfCuU4GsT9A>

*対面・オンラインともに、前日までにお申し込みください。



政府は、昨年国会で成立した「改悪」入管難民法の実施を「6月上旬」としています。さらに、「技能実習制度廃止・育成就労創設法案」と合わせて、「永住取り消し法案」、「在留カード・特別永住者証明書とマイナンバーカード一体化法案」が今国会に提出されました。これら3法案は、在日外国人に対する在留管理をさらに強化しようとするものです。



私たちは昨年6月、「入管難民法の改悪に抗議し、難民・移民と共に生きる教会共同声明」を出し、126の教会・団体が賛同しました。その共同の意思を基点として「難民・移民なかまのいのちの緊急基金」を起ち上げ、現在までに807万円の献金が全国の教会・キリスト者から寄せられました。その献金により、難民申請者・仮放免者ら269人を支援することができました。しかし私たちの支援は、まだ大海の一滴に過ぎません。



国会で審議が始まる3法案に対する反対運動、2023年改悪法の実施、そのさなかの6月8～9日には、大阪市生野区で「移住者と連帯する全国ネットワーク」のワークショップが開催されます。その前日、私たちは全国の教会とキリスト者に呼びかけて、対面とオンラインによる「難民・移民キリスト者フォーラム2024」を開催し、全国の仲間たちの声を寄せ合いたいと願っています。

● 基調報告

① いま国会では

佐藤信行さん (外キ協事務局)

② 難民申請者・非正規滞在者の

今後と私たちは

——2023年改悪法の施行

山岸素子さん (日本カトリック
難民移住移動者委員会)

● 報告と証言

① カトリック大阪高松大司教区

社会活動センター シナビス

ビスカルド篤子さん他

② アウトウマンマー

渡邊さゆりさん他

③ 難民・移民緊急基金

田村義明さん / 河内理恵さん
(基金運営チーム)

● みんなで討論

わたしたちはこれから何ができるのか、
お互いの声を寄せ合いましょう。

● アウトウマンマー祈り会

フォーラム終了後、9時からはアウトウマンマー
祈り会に参加します。(毎週金曜日の夜にオン
ライン開催。どなたでも参加できます)

主催

外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会 (外キ協)
外国人との共生をめざす関西キリスト教代表者会議 (関西代表者会議)
外国人との共生をめざす関西キリスト教連絡協議会 (関西外キ連)
マイノリティ宣教センター (CMIM)

連絡先

外キ協事務局
電話：03-3203-7575
メール：raik@kccj.jp
www.gaikikyo.jp